
音

VISIA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

音

【コード】

N5631L

【作者名】

VISIA

【あらすじ】

自分の

気づかない所で

起きているかもしれない

お話。

(前書き)

おやすみなさい。

午前4時頃

夜と朝の狭間、家賃の安いぼろアパートで、男が寝ていた。

台所の食べたまま放置されてある汚い食器に、水道の蛇口から部屋に響き渡るように水滴が、

ポチャ…ポチャ…

と、規則正しく落ちている。

天井からは、

ドタドタ、ドタドタ、

と、子供が走っているような音がする。

それらの音に重なるように冷蔵庫が、

ヴウウウウン、

と、唸りだし、

突然電源が入ったテレビからは、

ピィ、

という信号音が続く。

また、部屋のあちろちらでラップ音が

パキツ、パキツ、

と、軽快なリズムを刻んだ。

更に、寝ていた男の豪快な、

ガアアア、ゴオオ、

という、いびきが始まった。

そして、携帯電話の無機質な着信音がそれらに重なったとき、奇跡が起きる。

まるで、アンサンブルのコンサートが行われているような、素晴らしい音の響きが部屋を包んだのだ。

男は熟睡していたが、体で感じていたその奇跡には、涙を止める事が出来なかった。

そして訪れた盛大なファイナーレの後、時間を合わせ間違えられた、キャラクターの目覚まし時計が喋った。

.. ブラボー!! ..

(後書き)

…あれ？なんで俺、泣いているんだろ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5631/>

音

2010年10月28日05時56分発行